

# 農へのこだわり

〜知っててよかった〜

広兼和明

指導員



夏の農作業は、朝、夕の涼しい時間帯に行い、作業中はこまめに水分補給をし、定期的に休憩を取りましょう。

## 「根こぶ病の特徴と対策」

アブラナ科の作物に発生する土壌伝



染性病害で、酸性土壌で水はけの悪い畑、水田裏作や水田転換畑で多発生します。発病圃場では土壌中に休眠胞子があり、

作物の栽培が始まると発芽・感染し、根にこぶを形成します。感染すると株全体が萎縮し、晴天の日は萎れ、朝夕は回復しますが、次第に回復しなくなり、生育遅延や腐敗にまで至ります。

休眠胞子は、土壌中で7〜10年以上の耐久性があり長期間土壌を汚染します。

### ハクサイ根こぶ病主要防除薬剤一覧(例)

使用方法	薬剤	成分	希釈倍数	使用時期	本剤使用回数	成分別使用回数		
灌注剤	ランマンフロアブル	シアゾファミト	500倍	定植前日〜当日	1回	6回以内(散布は4回以内 灌注体圃は1回以内 灌注(育苗トレイ)は1回以内)		
	ランマンフロアブル	シアゾファミト	2000倍	定植時	1回			
	オラクル顆粒水和剤	アミスルブロム	200〜500倍	定植前まで	1回	6回以内 (土壌湿和は1回以内 灌注は1回以内 散布は4回以内)		
	フィールドキーパー水和剤	ハリオボラックス パラドクス	200倍	播種直後及び 定植前日〜当日	2回			
土壌湿和剤	全面	オラクル粉剤	アミスルブロム	30kg/10a	播種前又は定植前	1回		
		ネビジン粉剤	フルスルファミド	20〜30kg/10a	播種又は定植前	1回	1回	
		ネビリュウ	フルスルファミド	20〜30kg/10a	定植前	1回	1回	
		フロンサイド粉剤	フルアジナム	30〜40kg/10a	播種又は定植前	1回	1回	
	作業	ネビジン粉剤	フルスルファミド	20kg/10a	播種又は定植前	1回	1回	
		フロンサイド粉剤	フルアジナム	15〜20kg/10a	播種又は定植前	1回	1回	
		全面散布後	ネビジンSC	フルスルファミド	1.8L/10a	播種又は定植前	1回	1回
			ネビジン顆粒水和剤	フルスルファミド	200g/10a	播種又は定植前	1回	1回
	フロンサイドSC	フルアジナム	500ml/10a	定植前	1回	1回		

### 「防除対策」

#### ●薬剤防除

(例：ハクサイ根こぶ病主要防除薬剤一覧)

#### ●抵抗性品種の利用

経済性や安全性に優れますが、効果に不安定な場合があります。

#### ●輪作

2〜3の主要野菜を導入し短期の収穫体系を行います。

#### ●有機物の施用

効果の度合いは、条件によって左右される 경우가多くあります。

#### ●石灰の施用(pH)

土壌のpHが低いと発病が激しく7.2以上では抑制されます。作物にもよりますが、pHをできるだけ高くするように石灰質資材で矯正します。

#### ●湛水処理

土壌水分が高いと発病も多くなりますが、湛水処理は、一定期間土壌水分を飽和状態に保つことで病原菌を消滅させる狙いがあります。効果にむらがありその作物を無駄にしないといけません。

#### ●その他

拮抗生物の利用(有用微生物の投入)や熱消毒(太陽熱の利用・蒸気消毒・熱水処理)などの対策もありますがコストや手間がかかり、効果もむらがあります。

一度発生すると厄介ではありますが、以上の対策を組み合わせることで被害の軽減をはかりましょう。

### 今月の農作業

#### 【水稲】

「平成27年度JA広島市稲作ごよみ安全・安心な農作物づくりの手引書」を参考に、いもち病やカメムシを中心に適時防除に努めましょう。

穂肥は、葉色をよく確認し、適期に適量を散布しましょう。台風が近くを通過する場合は、深水にし、倒伏を防ぐ等の対策を行いましょう。

#### 【果菜類の管理】

暑さで株が弱る頃です。草勢を見ながら7〜10日おきに追肥を行いましょう。4〜5日雨が降らない時期は、かん水を行いましょう。病害虫も発生しやすい時期ですので注意し、早めの防除を心がけて下さい。

ナスは、定期的に追肥・かん水を行い、樹が弱ってきたら、更新せん定を行い、株の若返りを図りましょう。